

子どもを暴力の被害者にも加害者にもしないために
…子どもの虐待のうらにひそむもの…

森田ゆり 講演会



日時：平成17年11月27日(日)
13:30～15:30

受付開始：13:00

場所：豊川歯科医療センター
定員：150名(要整理券)

資料代：500円

託児：200円

(要予約 事務局へ11月15日まで)

問合せ：みらい事務局

0533-87-2564

整理券取扱い：みらい事務局 みらい会

森田ゆりさん・・・

1981年から、アメリカで子ども、女性への暴力防止に関わる専門職養成研修に携わる。その後7年間、カリフォルニア大学主任研究員として、人種差別、セクシャル・ハラスメントなどの人権問題の研修セミナー開発と指導に携わる。

日本にCAP(子どもへの暴力防止)プログラムを導入。

現在、エンパワメントセンターを主宰し、全国で研修活動に専念する。第57回保健文化賞受賞。

著書

「聖なる魂」（朝日ジャーナル大賞受賞）

「あなたが守るあなたの心あなたのからだ」

（産経児童文化賞受賞）

「癒しのエンパワメント」

「子どもと暴力」「気持ちの本」

「ドメスティック・バイオレンス」 他多数



主催： 豊川男女共生ネットみらい

かぞくの未来を考える会議委員会

後援： 豊川市

豊川市教育委員会

子どもを暴力の被害者にも加害者にもしないために

～内なる力のみなもとへ～

2005年11月27日 豊川

講師；森田ゆり（エンパワメント・センター主宰）

誰にも言えない子どもたち

- なぜ誰にも言えないのか
- 岸和田事件の場合
- 誰にも言えないことの深刻な影響

「一人でいることがトラウマを形成する」（シャンドール・フェレンツィ著『臨床日記』）

虐待・暴力被害体験がトラウマとして作用するのは、暴力そのもののもたらす心的外傷と並んで、あるいはそれ以上に、誰からも救いの手が差し伸べられなかったことに起因する

- あなたにもできる「心の応急手当」 『新・子どもの虐待』

被害体験のもたらした様々な感情を傾聴してくれる存在の大きさ

気持ちを語る 気持ちを聴く → 『気持ちの本』の使い方

大人が子どもにあげることのできる最良の贈り物とは 聴く：尋ねるよりも、聞くよりも

「お前どうしたんだ？」の次の一步の研修を 『あなたが守る～』

心肺蘇生訓練のように「心の応急手当」ワークショップを学校で一年に一度はする

- 心の応急手当をしておくことが、子どもを加害者にしないベストの方法

- 怒りの仮面

あるDVの加害者から考える → 『ドメスティック・バイオレンス～愛が暴力に変わるとき』



『新・子どもの虐待』 森田ゆり著（岩波ブックレット）より

エンパワメントと人権 戦]

→

「子どもと暴力」 「非暴力タンポポ作

- 人権とは何かの再考
- 人権とは、ひとの生きる力
- 生きる力の教育: 自分で感じる、自分で考える、自分で行動選択する → 「しつけと体罰」

次世代育成の最大の関心事は、子どもたちが戦争に巻き込まれることのない生きる環境を保障すること。

戦争は最悪の児童虐待。戦争は最大の人権侵害。

- 法的な人権もしっかり握って、手放さない。

安心の組織化を！

- 本当に犯罪は急増し、凶悪化しているのか
マスコミが大増幅する不安 安易な枕詞を言わない
- 不安の4つの危険性
不安は伝染する
不安に圧倒されると人は思考停止になり、考えなくなる、愚かな行動や選択をしてしまう
不安はお金になる： 安心を売るビジネスが大繁盛
不安は支配と管理の道具に使われる：
世論を作り出すために不安は人工的に作られ、人々はそれに翻弄される
思考停止になり、ただ強力な政治リーダーを熱望する
体感治安悪化86.6% →管理監視社会作りを最優先させる為と言われて、人々は自らの安心、自信、自由の人権を手放してしまう。
- 世界的なレベルで、不安の組織化が急速に進んでいる。管理と支配の網の目の中で、大人たちの閉塞感が募り、子どもたちのいのちの輝きが消えていく。
危機管理対策の最も有効な方法は、ハードの整備に依存することではなく、コミュニケーションの疎通である。なぜ外にばかり安心を求めるのか。それをすればするほど、人と人とのコミュニケーションが疎遠になる。
内に安心を育てる！ それはどうすることなのか。
生きるちからとしての人権感覚と敏捷な身体性 →個人通信『エンパワメントの窓』15号
- タンポポの生態の叡智から学ぶ 逆境を生きる知恵とは、
- 非暴力タンポポ作戦を全国的に展開している。今こそ、不安ではなく「安心」を、安心の組織化を。「ひきわけよう、あきらめない、つながろう」のタンポポの綿毛を吹き飛ばして、安心のネットワークをつなげよう。
- 不安は伝染しやすい、でも勇気もまた伝染する
- マハトマ・ガンディーの「社会の七つの罪」 『非暴力タンポポ作戦』（解放出版）
- わたしたち大人も「自分で感じ」「自分で考え」「自分で選択」する。

「いちばん悲しいときは

気持ちがわかってもらえないとき

いちばんうれしいときは

気持ちが通じ合えたとき

いろいろな気持ちがある あなた
んだよ

そのままのあなたで いい

いろいろな気持ちを大切に
する」

ぐんぐん大きくしあわせに

・森田ゆり個人通信「エンパワメントの窓」+メルマガの購読申し込みは、FAX・留守電0798-51-2903へ

- 森田ゆりの研修及びその他の非暴力の活動についてはエンパワメント・センターのホームページ：<http://www.geocities.jp/empowerment9center/index.html>